

2008

JAN. 1 vol.23

東京成徳広報



東京成徳大学(八千代キャンパス 12月撮影)



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

P 3	巻頭言 理事長 木内 秀俊
P 4	大学新学部構想 学科改組関連
P 5	開かれた大学へ 第三者評価の状況
P 6	各学校責任者の抱負 臨床心理学科 市村操一 子ども学部 永井聖二 幼児教育科 中田カヨ子 中高一貫部 中村雅一 深谷高等学校 関根千津子 附属幼稚園 大武深雪
P 8	年男・年女のひとこと「戌子生まれ 壬子生まれ 甲子生まれ」
P 9	大学教育について最近思うこと 臨床心理学科 海保博之
P 10	活躍する卒業生 第1回 人文学部 同窓会開催
P 11	社会との交流「男女共同参画セミナー」
P 12	就職状況 就職課（八千代キャンパス） 学生生活課（十条台キャンパス）
P 13	TOPICS 大学院 大学人文学部 大学子ども学部 短期大学 中高一貫部 別館高等部 深谷高等学校 幼稚園 第二幼稚園
P 22	クラブ活動の成果
P 23	「学園教員の新刊紹介」
P 24	入試情報・お問い合わせ先



TOKYO SEITOKU

学園のシンボルマーク
「理想」と「現実」を表す
ブルーの五本の柱は、五つの教育目標を
「活び」と「愛」を表した
イエローの三本の柱は、学生・生徒と
教職員・同窓生を象徴しています。
そして、八つの柱が一体となり、
東京成徳と学園に集う人々の
コミュニケーションを
作り上げる姿を表現しています。



平成二十年を迎えて

理事長 木内 秀俊

平成二十年の新しい年の訪れを心よりお慶び申し上げます。

さて中学・高校は既に平成生まれの生徒で占められています。平成二十年の春は、大学・短大にも平成生まれの進学者の波が本格的に押し寄せる時期となりました。昭和戦中生まれの私にとっては青少年の頃に聞いた「明治は遠くなりにけり」という言葉が、「昭和は遠くなりにけり」と言う言葉に置き換わって、時代が転換して行く感慨を覚えております。

論理的には元号で時代の雰囲気が決まるものではありません。しかしその時代の様相・雰囲気は逆に明治・大正・昭和などその時の元号に結びつけて語られることも多いように思います。昨年末の報道では、平成十九年の時代の様相を一字で表す漢字として「偽」が上げられていましたが、平成という時代にとって大変残念なことと

思います。確かに社会保険庁の杜撰な仕事振りや食品偽装の多発など世間の人々を欺く多くの行為が報じられたこともあって、「偽」という残念な文字で表現されたものと思います。特に伝統のある老舗料亭などでも問題を生じており、創業の精神を忘れて時代の風潮に流された結果ではないかと感じられます。分野は異なりますが、学園の運営においても他山の石とすべきものと考えております。

しかしながら一方でグローバル化が進展する中、消極的な墨守の姿勢のみでは現代に通用しないことも厳然たる事実であります。

「不易と流行」という言葉があります。どの時代でも変えては行かない事柄と時代によって変えて行かなければならない事柄の二面が教育にはあることを表した言葉です。

学園にとって不易の部分は建学の精神である「徳を成す」人材の

育成であります。「徳」のもつ側面の一つとして、昨年の世相を表わす「偽」に対して「信」と言う言葉が上げられます。個人相互間の「信」はいつの時代にも存在しますが、社会・集団としての「信」は必ずしもいつも存在するものではないことを、昨年の状況が我々に教えてくれたと思います。我々は社会・集団の「信」を保つためにより意識的な努力を要する時代になっていると考えます。

さて学園の中等教育部門（高校・中学）では不断の授業内容の改善などを通じて進学実績が伸びるとともに、共学化の進展が図られております。その一例として運動部の活躍が上げられ、昨年は東京校のサッカー部が都のベスト4に、深谷高の野球部が埼玉県のベスト8に入るなどの実績を残しており、従来の女子運動部の活躍とともに、男子運動部の活躍が今後ますます期待されます。

本年もこれまでの積み重ねの上に勉学・スポーツの両面において多くの実績を着実に積んでくれるものと思えます。

高等教育においては、本年は新分野の開拓と分野の再編の年となります。今春四月に千葉県八千代市にある人文学部から応用心理学

部が分離され、その中に従来の福祉心理学科・臨床心理学科に加え、平成二十一年設置を予定して「健康・スポーツ心理学科」を現在構想・計画中です。スポーツをポジティブな心理面から捉えていくもので、広いグラウンドなどの運動設備を有する八千代キャンパスに適応した学科と考えます。

また東京都北区の十条台キャンパスでは、平成二十一年に短大のビジネス心理学を大学の現代経営学部（仮称）に改組転換する構想・計画が具体化しつつあり、設置申請の準備を進めています。学部分野を現代経営に拡大するとともに、その一分野としてビジネス心理分野をさらに発展させていくことを目指します。

本年はこれらの新学科・新学部の設置推進を図るとともに、引き続き平成二十一年度以降を展望して新分野の検討を進めていく方針であります。教育の世界も従来の教育研究に止まらず、第三者評価・地域貢献への対応など様々な活動が要請される時代です。こうした中において不易を忘れず、流石も取り入れる努力をさらに続けていく所存です。

学園へのご支援・ご鞭撻を今後ともよろしくお願いいたします。

十条台キャンパスに 経営学部開設を構想中

平成五年に開学した本学は「変化の時代」に対応すべく新学科の開設、既存学科の改組、新学部の開設を行い、社会に貢献できる人材の育成に努めてまいりました。この度一層社会のニーズにお応えできるよう、新しい観点からの新学部「経営学部現代経営学科」（仮称）を構想中で、今春にも文部科学省に申請し平成二十一年開設をめざしています。

「社会が求める人材」に応える新学部

・企業100社に「求めている人材」を伺いました。
東京成徳短期大学ビジネス心理科の教授陣と事務局のスタッフが、「企業がどんな人材を求めているのか」をテーマに、大企業から中小規模の企業まで一〇〇社の人事担当者の方にご意見を伺いました。
企業は「自分の考えをしっかりと伝える」「目標管理がしっかりとでき、継続した努力を傾注できる」、つまり「自立型人間」を求めています。

新設の「経営学部」（仮称）の目的

・「自立型人間」の育成が目標です。いわば既存の経営学部の現版で、「指示待ち」でなく「自立」できる企業人を育成し、社会に送り出すことが目標です。

これからの時代の企業人となるには、産業構造改革のための実学の体得が必要です。カリキュ

ラムは「学生の目線に立った実学」とし、自立した職業人としての必要な基礎能力の向上を目指します。特に少人数のゼミでは、実際に社会に出て活用できるスキルが一人ひとりの身につくよう指導します。

新設の「経営学部」（仮称）は「これからのしごと」を探究します

・「経営学部」（仮称）の教育は、現代の職業人としての基礎づくりをします。学生が自己の志望する職業に就くことは、ご本人・ご家族のみならず新学部の大事な目標です。現代の若者は、変化の時代に即応できる力で「これからのしごと」をみつけないければなりません。新学部は幅広い分野における経営の現在と未来を研究し、それを「これからのしごと」の発見に役立てます。

「経営学部」（仮称）は

精緻の教員を揃えます

・新学部の目的遂行のため、カリキュラムは各分野で最適の教員が担当します。学部長には岡田康司氏（現大阪産業大学大学院教授）が就任予定です。



岡田康司氏

皆さまのご支援をお願いします

・「経営学部」（仮称）は経営学を学ぶだけでなく、現代を学ぶ学部です。「現代について学びたい」「世界で自分のキャリアをデザインしたい」「現代が直面している問題を経営学を通して考究したい」等と思っている人々のための学部です。皆さまの力強いご支援をお願い致します。

健康・スポーツ心理学科（構想中）

八千代キャンパスの応用心理学部では、平成二十一年四月にも一つの心理学分野を教育・研究する学科を開設しようという計画が進んでいます。

○設立の趣旨

心身ともに健康な生活を送るた

めの個人の心の持ち方や、人間関係、生活習慣のあり方を理解し、実践に結びつける方法の教育、研究を進めることにあります。

従来の臨床心理学や福祉心理学が心に負の側面を持った人々を支援する方向に重点を置いてきた傾向があったのに対して、本学科では、人の達成行動の促進を促す方向に力を置こうと計画しています。困難な状況でも希望を持ち続けることや、人々と信頼関係や友情を育てることなど、「健康心理学」、「ポジティブ心理学」に「スポーツ心理学」などを中心に学びます。

本学科では、スポーツ実践の中で、さらに心理学の講義の中で、スポーツの心を知ることができ、自らのスポーツ技能の向上にも、さまざまな人々のためのスポーツ指導にも、スポーツの心を知ることが大切です。

○人材育成の狙い

本学科で学んだ学生が、企業人として心の分かる指導者になったり、健康産業の中で、レクリエーションリーダー、スポーツインストラクターなど、明るく仲間をリードしていける社会人として活躍できる人材を育成することが目的です。「健康心理士」や「スポーツリーダー」資格取得のための教育課程を準備します。

開かれた大学へ

第三者評価（認証評価）の状況

大学・短期大学の自己点検・評価については、当初「大学自ら点検及び評価に努めなければならない」と省令で定められていましたが、より公正な評価をするため法律に基づく認証評価機関による評価を受けることが義務づけられました。本学園では、まず短期大学が、ついで大学が認証評価を受けることとなりました。

設置基準について

大学、短期大学の設置に関しては、学校教育法その他の法令の規定によるほか、文部科学省が省令で定めた「大学設置基準」・「短期大学設置基準」を満たしていることが最低の基準と定められています。学校教育法第六九条の三では「大学は、その教育研究水準の向上に資するため、文部科学大臣の定めるところにより、当該大学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。」さらに第二項に「大学は、前項の措置に加え、当該大学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者（以下「認証評価機関」という。）による評価（以下「認証評価」という。）を受けらるものとする。以下略。」

評価機関について

大学や短期大学などが高等教育の使命を全うしているか、適正に運営されているかなどを評価するために、文部科学大臣が認証した評価機関が設立されています。本短期大学が評価を受ける財団法人短期大学基準協会は、平成十七年一月、認証評価機関として認証され平成十九年一月末現在三三三校が加盟しています。

本大学が評価を受ける財団法人日本高等教育評価機構は、平成十七年七月認証評価機関として認証され、平成十九年九月現在二八〇大学が会員となっています。

短期大学の取り組み

東京成徳短期大学は平成十八年六月に認証評価の申し込みを行いました。六月に「平成十七年度自己点検・評価報告書」を作成。学内に教育研究改善委員会を設けて



十条台キャンパス

には評価結果が通知され公表される予定です。

大学の取り組み

東京成徳大学は平成十九年九月、財団法人日本高等教育評価機構（JHEE）に認証評価の申し込みを行いました。平成二十年一月から「自己評価報告書」の作成を開始し、同年六月末日までJHEEに提出する予定です。評価委員による実地調査は同年十月二日・三日両日行われ、平成二十一年三月には評価結果が通知・公表される予定です。

十一月に「平成十八年度自己点検・評価報告書」作成に着手、準備を行い、平成十九年六月「同報告書」を（財）短期大学基準協会に提出しました。七月～八月にかけて短期大学基準協会が書面調査し、さる九月、評価員五名による訪問調査が行われました。この評価員は短期大学基準協会が全国の短期大学の教職員の中からその都度選定された方々が担当されます。本学園の法人役員はじめ教職員・学生までが十項目に亘る評価項目についてのヒアリングを受けました。年末には機関別評価案が作成され、内示。平成二十年三月



八千代キャンパス



魅力ある情報発信の責務

臨床心理学科長 市村 操一

二〇〇八年度の入試はこれから本番、一般入試目前ですが、これまでのAO入試や編入者の面接で強い印象を与えてくれた数名の受験生の記憶が鮮明です。

一人の女子の受験生は、人々がよい人間関係をつくり出すための心理学の技法に興味を持ち、そのような勉強がどの大学へ行ったらできるかを、インターネットを使って探したそうです。

その結果、東京成徳大学の新しい応用心理学部が自分の勉強を進めるのに最もふさわしい場所と判断し、受験を決心したということです。

受験生の中には志望動機を、先生に手伝ってもらったような文言を、間違えないように話すことだけに苦心している人もいます。でもインターネットで自分の力で調べてきた女子学生の答えは、本当に心理学に興味をもっていきの様子がよく伝わってきました。

と、同時に、私は心を少し引縮めました。私たちの研究し、教育していることは、若い人々によってさまざまな方法で、多様な立場から眺められているという思いに、緊張感をあたえられました。

大学の知名度を高める戦略策定に傾注しているわけですが、魅力ある情報を発信する努力が今年も様々な分野で実ることを期待しています。



子ども学部、次の課題

子ども学部子ども学科主任 教授 永井 聖二

子ども学部は、この三月に初の卒業生を送り出す。さまざまな困難はあったが、「子ども学部」の草分けの一つということもあり、学生に恵まれて一応の成果をあげることができたことを、うれしく思っている。短期大学幼児教育科の伝統に助けられた面もあったし、事務職員の方々のご尽力にも感謝したい。

ただ、直近の状況は、なかなかにきびしい。高等教育全般の需給の動向に加え、子ども学部の一応の成功は、この分野への新規参入の急増をもたらしている。結果として本学の子ども学部も、幸運な揺籃期を卒業して苦闘を余儀なくされる時期を迎えている。

では、苦闘のなかで子ども学部が目指すべき方向性とは何か。それは一言でいって、学部教育の成果の充実であり、「たしかな」卒業生を世に送り出すことであらう。

グラデュエートアトリビュートという概念に代表されるように、近年、学部教育の結果としての修了者の資質や力量が改めて問われている。

今日の子ども学部が置かれた諸状況からすれば、まさにこのグラデュエートアトリビュートの重視こそが、最優先の課題であらう。当然といえばあまりに当然なことであるが、たしかに資質、力量を身につけた卒業生を世に送り出すことを通して、社会に、また学園に、いささかなりとも貢献できればと願っている。



自分の目標（保育者の道）を達成するために

短期大学幼児教育科長 中田 カヨ子

幼児教育科が昭和四十一年に開設されて、今年は四十二年目を迎えます。この間に卒業生は一万四百四名で、卒業生の大半は卒業時には、幼稚園教諭または保育所の保育士（保母）として就職し、頑張っています。

卒業生の中には、定年退職まで頑張って四十年間仕事を続けた人もいます。一つの仕事を長く続けることは大変な事だと思いますが、これからの学生さん自身分の仕事に誇りを持って、長く続けて欲しいと思います。

最近の幼児教育科に入学してくる学生を見ていますと、以前のようにどうしても保育者になりたいと、卒業まで自分の意思を通す人が少なくなっただけです。特に、この数年間を見ても、保育者になりたくて入学してきているのに、実習などで注意を受けると、とたんに自信をなくし、進路変更や退学をします。これからは、困難な問題から逃げ出さずに、努力をして、自分の目標を達成できる学生を育てていきたいと考えます。

そのためには、学生一人ひとりが自分の得意なもの、(例えばピアノ、制作、絵画、幼児体育、運動遊び等)をより深く学び、これだけは誰にも負けないというものを身につけて幼稚園や保育所の現場に出してほしいと考えています。少しでも、自分の得意なものがあれば自信になり、楽しんで保育の道に進めたいと思います。

このように、一人ひとりが自分の特性を生かした個性ある保育者を育てていきたいと考えています。そしてなによりも一人も退学者を出さないようにしたいです。

次の十年



中高一貫部（本館）教頭 中村 雅一

中高一貫校がスタートしてから、もうじき十年が経とうとしています。四期生までが卒業し、一回りまであと二年です。カリキュラムの見直しや授業と指導の工夫と改善、広報活動と入試内容の変化と進化を経て、「伸ばす教育」を掲げた中堅進学校を目標としてきた十年でした。今年はその区切りの一年となることと思います。

次の十年間では、本校の中高一貫校としての歴史を構築していくという強い意識が一番大切だと考えます。ここまでは、いろいろな新しいプラン・方針が実施され、より良い方向性を模索しながら成長してきました。今後微調整はもちろん必要です。「東京成徳大学中高一貫校」あー、あの大学進学はもちろんすばらしいけど、生徒たちの表情がとても豊かになり、そして生き生きとしてしまう魔法がある学校ね。」というような表現で広く認知されるような学校が、本校の建学の精神にマッチした理想の将来像であると思います。

「自分を深める学習・中高一貫バージョン」や「サタディプログラム」などの情操教育が、今の大変な時代を生きる子どもたちに一番大切で必要な部分です。私は、本校の歴史をようやく積み重ね始めた時代の一教員として努力していきたいと思えます。

力を合わせて



深谷高等学校 教頭 関根 千津子

このところ、深谷校のある埼玉県北部地区でも、私学の進学実績が公立を上回るようになり、保護者の私学への関心が高まっています。そのため、各校がいろいろな施策を打ち出し、良い生徒の獲得をめざして必死に募集に当たっています。

そうした中で、深谷校は「生徒が主役」の考え方に基づき、生徒・教職員の信頼関係を大切にしていきます。「明るく楽しいクラス、充実した授業、活発な部活動」を柱に、緑豊かな環境の中でおおらかな心を育みながら、生徒・保護者の多様なニーズに応えられる学校でありたいと頑張っています。

期待を寄せるレインボープラン（7コース）一期生の結果がまもなく出ます。この結果をふまえて、進路指導をより効果的に進めていくために、各コースの組織力を強化し、教育環境をさらに充実させ、前進ある深谷校を自信を持ってPRできるよう、みんなで力を合わせて取り組んでいきたいと思えます。

ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

「やればできるよー!」 園児と私への呪文



短期大学附属幼稚園 教頭 大武 深雪

毎年元旦の初日を浴び、今生きていることへの感謝をこめ拝みながら今年はどうなるのだろうかとうかと、期待を込め新たに気持ちをしなす。

昨年と同じ思いをしてスタートして一年、悲しい出来事もあったが、嬉しいことに、ずっと会えずにいた友人に二十二年ぶりに会えた。人は出会いと別れの中、自分と向き合うことができる。そこでの分岐点は人を大きく変える力となります。幸いなことに、私には成徳に師と仰ぐ方が大勢いてくださる。そして幼稚園には一生懸命共感して一緒に歩んでくれるスタッフがいる。それはなによりもの代えがたい私の財産となり自分が日々成長していける糧となっています。私がいづつも心がけていこうと思う事があります。

今を大切に、与えていただいたチャンスを最大限に生かせる努力をし、興味を広げていく事、良く園児たちに「やればできるよ」と話している。それは同時に自分にも言い聞かせている呪文なのです。「少量のスパイスを生かし、今日より明日、明日より明後日、一歩とは言わないが、今日の自分より半歩でも先を歩いでいたい」と思う。

どきどき、わくわく思い出多い一年でありたいと思えます。

年男・年女のひとこと

六十才の少年をめざす

短期大学言語文化「コミュニケーション科 樋口信夫



いつも若くありたい。それは、物事に感動する新鮮な気持ちを失わないようにしたいこと。

好奇心は旺盛でありたいこと。夢があること。自分にしかできない仕事をもつこと。汗を流したいこと。よくばりなこと。還暦・耳順の今年、めざすは「六十才の少年」です。

短大言語文化コミュニケーション科の魅力を世に強くアピールすることに尽力します。

どうぞよろしくご指導をお願い致します。

新たな旅への第一歩

大学人文学部アジア言語文化専攻 阿南友亮



今年、年男であることは昨年末に言われるまで気付きませんでした。言われてみて初めて一二年前の自分を思い出し、この一二年間の軌跡を振り返ってみました。一二年前といえど丁度学部を卒業し、大学院の修士課程に進んだ年でした。自分の研究対象である中国を初めて一人で旅をしたのもこの年でした。それ以来、旅や留学を通して異国を探索することにめり込み、気がついたら自分のためのめり込み世界について大学で教えるよう

になつていたというのがこの一二年間の感想です。

私の所属する専攻では、毎年学生が中国や韓国に乗り込み、現地での様々な体験を通じて一回りも二回りも成長して帰ってきます。異国探索の旅に出かけるには、語学やその国の文化・社会に関する一定の専門知識を事前に身につけることが大切です。

異国探索の旅にできるだけ多くの学生が参加できるように、また自分自身も新たな旅に出かけるために、今年も学生と一緒に中国について色々勉強したいと思っています

今年で三回目の年男になります。この三六年間を振り返ると、本当に「運」と「人」に恵まれてきた

「運」と「人」との出会いを大切に

別館(高等部) 望月勉



今年で三回目の年男になります。この三六年間を振り返ると、本当に「運」と「人」に恵まれてきた

など実感する。そのなかでもこの一二年間は、結婚して四人家族となり、生活の場も福岡↓滋賀↓岩手↓東京へと変わり、「運」と「人」との出会いが特に多かったように感じる。

今年もすばやく走り回りたい

と「人」との出会いを大切に一步一步着実に前進していきたいと思っています。

今年もすばやく走り回りたい

深谷高等学校 明石奈美子



大志を抱いて深谷にやってきました五匹のねずみたち(川瀬貴恵、木村哲久、小笠原靖、立花和美、明石奈美子)は、多くの先輩方や生徒に支えられて、あつちでチューチュー、こつちでチューチュー、気がつけば早や十数年(新入りねずみ小沼一弘は早や一年)。充実しまくりの毎日だ。

年男・年女の私たちは、今年もすばやく走り回りたいと思う。そして皆さん!今年も愛する人に沢山チューをしよう。チューチュー☆

沢山の子ども達と触れ合っていきたい

幼稚園 宮田純子



私が幼稚園教諭を志したのは中学三年の時、夏休みに保育園でのボランティアへ参加し、子ども達から沢山の笑顔をもらったのがきっかけです。

本園に勤務して三年目、三歳児の担任をさせていただいています。三歳児は初めて社会を経験する場でもあり、初めて集団生活を学ぶ場でもあります。日々成長していく子ども達の姿を近く

戊子生まれ・壬子生まれ(男性) 甲子生まれ(女性)

で見守れることが私にとって何よりも嬉しいことです。

自分の保育の仕方に悩んだり落ち込んでしまうこともあります。が、「せんせいだいきいき」と笑顔でかけ寄ってくれる子ども達に毎日元気をもらっています。

まだ未熟ですが、これからも沢山の子ども達と触れ合っていきたいと思っています。

子ども達と一日一日を大切に

第二幼稚園 高橋悦子



私は幼稚園教諭になって今年で四年目になりますが、今迄の、そして今の自分のクラスや毎日一緒に過ごしている子ども達が好きです。

そう自信をもって言えることに幸せを感じています。

私を助け、支えてくださっている沢山の方々に感謝して、少しでも保育者として成長し、子ども達の心に寄り添った保育が出来るように頑張りたいと思っています。

そして常に自分を振り返り、後悔しないように子ども達と一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

「大学教育について最近思うこと」

福祉心理学科長 教育学博士・教授 海保博之



その1 「教師をやる気にさせるのは学生？」

アメリカの大学で、普通の講義を使って行われたこんなおもしろい実験がある。

学生にこっそりとある時間が来たら、講義している先生の顔をみて、先生の発問には積極的に挙手をし、先生の冗談には即座に反応するようにあらかじめ指示する。すると、先生のほうも、学生の顔を見ながら、発問の数も増え、講義にのった状態になる。そこで、さらに一定時間が来たら、学生に、逆に講義がつまらないことを示す態度を示すように指示しておく。すると、先生のほうも、先ほどの

のった状態から一転して、講義ノートを読み上げるような感じのたんとした授業になってしまったのだそうだ。

学生も教師も「のってくる」ような授業の状況が好ましいのだが、日本の大学は、おおむね学生の反応が貧弱で、どちらかというとながタイプなほうに傾いている。なんで講義室で彼らはあんなに不機嫌な顔をしているのか不思議に思うことさえある。

これが日本の大学教員の授業への熱意や動機づけを低めてしまっているところがある。これに追い打ちをかけるのは、学生による授業評価である。なさけ容赦のない？評価に講義恐怖症になってしまふ教員もいるとの話も耳にする。

今のところ、思いつく改善の方策の一つは、小学校の対話形式の授業である。大学の授業のモデルに、「小学校の授業をモデルに」

とはやや恥ずかしいところがあるが、随所での発問、机間巡視、そして、子どもとの親密なコミュニケーション。さらに、学生側に既知知識の存在を仮定しない授業展開などなど。いずれも、これまでの大学の授業ではなかったものである。それだけに、教員の側にスキルもないし、そんなことをすることに對してなんとなく気恥ずかしいところもある。さらに、学生の側の協力？も必要。となると、無理かな！。

その2 「大人になろうとしない方がいい若者」

見出しは、ある心理学者の言説である。青年期の延長は、近代の産業構造が変化したことに伴う先進諸国での必然であるとした上でこのこうした巷間に流布するステレオタイプの言説の問題点を指摘しているのだが、それでも、この言説には、日々若者と接している大学教員を得心させるものがある。彼らを大学生と考えるのではなく「高校4年生」として遇すればよいとの話も耳にする。

50%を超えた大学進学率の中

で、「大人になろうとしない方がいい若者」がどれくらい割合を占めるのかはわからないが、大学がそうした若者の収容？機関としての役割を一部期待されていることは間違いない。今後、進学率があがればその期待はもっと強まる。しかし、今の日本の大学教育によって、「大人として自律したのもしい成人」へときっちり成長させて世に送り出せるかどうか。はなはだ心もとない。

大学教育の中心になっている学問を学ぶことは、そうした成長への強力な力になっているはずとの思いが大多数の大学教員の中にはあるし、それが大学教員の仕事上の誇りでもあるし、使命感のもとでもある。

「しかし」である。最近、そのことが学生に伝わっているとは思えないことばかりに遭遇することが多い。学問以外のもの、たとえば、実務や徳育、もっと広く「人の道」のようなもので高等教育の内容を構成することもありではないかと、ひそかに思ったりもしている。

ひと

活躍する卒業生

第一回人文学部同窓会 盛大に開催される

平成九年三月に第一期生が社会に旅立ってから、早くも十年が経ちました。学科単位での同窓会は開かれていましたが、学部挙げての同窓会は初の企画です。同窓会スタッフの皆さんが趣向をこらし、案内状もなんとA4サイズ・フルカラーでした。
大学の内容も年々充実し、発展を続ける東京成徳大学を支えるのは「卒業したOB・OGの皆さんです」「懐かしいあの笑顔に会いにきませんか」と参加を呼びかけました。



十一月十七日、東京品川に聳え立つ「グランドプリンスホテル新高輪」の国際館パミール香雲には一期生から十一期生が勢ぞろい、赤ちゃんを抱いたOGの方も参加。

ご来賓の学園後援会佐々木会長、大学側は木内学長・國分人文学部長・黒田事務局長、教職員（含ご退職された在学生など百六十一人が集いました。
藤本同窓会会長・木内学長の挨拶、國分学部長による力強い乾杯の発声後、歓談となり、来賓・恩師の方々のスピーチをいただきました。あつという間に時が過ぎ、次回の方々の再会を楽しみにお開きとなりました。関係者・参加者の方々の感想です。

母校の発展を支えられるように一層の努力をしたい



同窓会会長 藤本昌樹
十一月十七日に開催された同窓会は、現役生、大学職員の方々、また木内秀俊学長先生をはじめとした多くの先生方にご参加いただき盛大に催されました。当日は多くの同窓生が、旧友や恩師の方との交流を温め、懐かしい知人の話に花が咲いている様子でした。このような貴重な時間を多くの同窓生で共有し、母校の発展を支えられるよう、一層の努力をしたいと思いますので、今後とも同窓会へのご支援、よろしくお願いいたします。（静岡福祉大学社会福祉学科講師、臨床心理士 学校心理士・社会福祉士 福祉心理学科一期生）

恩師に感謝し、学友の大切さを痛感

井上由美子
私が卒業してから八年が経ちました。働き始めて改めて、仕事の枠を超えているいろいろなことを教えて下さった先生方に感謝し、学生時代にできた友達の大切さを感じています。今回の同窓会も楽しみにしています。（社会福祉法人霊華会特別養護老人ホーム第二藤サンクチュアリ勤務。英語・英米文化学科四期生）

今の自分を励まし、誇れるきっかけとなった

櫻井(金子) 真由美
同窓会に参加して、懐かしい先生方、友達に会えて本当によかったです。先生方は八年前に卒業した私たちを温かく迎えて下さいました。在学中も研究室に気さくに呼んでいただいたことを懐かしく思い出しました。また、今では全く違う道を歩んでいる友達に、この機会に会えたことも今の自分を励まし、誇れるきっかけとなりました。また同窓会があつたら参加したいと思えます。この機会を与えて下さったスタッフの皆さま、お疲れ様でした。（英語・英米文化学科四期生）

感動の数時間！同窓会役員の皆様に感謝

牛田 昌子
大学初の同窓会！感動の数時間！あつという間に時間が過ぎてしまいました。卒業以来会っていなかった友達や、ホームステイに一緒に行った仲間、なかなかお会いする機会がない先生方、本当に沢山の方と再会を喜ぶことができました。このような機会を与えて下さった同窓会役員の皆さまに改めて感謝致します。この出会いを大切に、またいつの日か皆様にお目にかかれるのを楽しみにしています。（寺内金属株式会社勤務。英語・英米文化学科四期生）

「安堵」、「感無量」。今後新企画を創造していきたい

同窓会常任理事(広報) 山口高志
会を無事終え、「安堵」が正直な私の気持ちです。何もない状態で、手探りで一つ一つを決めていた時は、本当に皆様が集まるかどうか非常に不安でした。しかし同窓会創設より企画を温存してきたこともあり、実現にはひとしおの想いがありました。そして当日、会場には溢れんばかりの卒業生、先生方にご来場いただくことが出来ました。感無量です。これを大きなバネに、同窓会のパイプを更に太くし、新しい企画を創造していきたいと思えます。最後にお忙しいなかご参加いただき、また多くのご指導をいただきました先生方、職員の皆様には深く御礼申し上げます。（近畿日本ツーリスト(株) 東京第一教育旅行支店勤務。英語・英米文化学科二期生）



男女共同参画セミナー

「若者発！自分らしくいきたくてあ〜い」

主催 千葉県男女共同参画地域推進員（千葉・市原・葛南地区）
千葉県民共生センター、「若者が考える男女共同参画」実行委員会



八千代キャンパスで翠樟祭が開催された十月二十八日、大講義室において人文学部奥山けい子教授の基調講演「なぜ男女共同参画が必要か」、ついで学生七名によるパネルディスカッションが行われました。本学からは日本伝統文化学科の木村美琴さん、佐藤貴伸さんがパネラーとして参加しました。

八千代市やちよ男女共生プラン懇話会委員の奥山教授は、内閣府が平成十九年七月〜八月にかけて実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」や平成十八年十二月の「女性のライフプランニング支援に関する調査」などの詳細なデータを紹介・解説され、パネラーに対し「なぜ、男女共同参画が必要か」を問題提起をされました。「就職時の問題」、「出産・育児の時の問題」、「結婚してからパートナーとの家事の分担」など課題は数多くあります。「男女共同参画」という大命題に対し、現実には「社会構造を変えていかねば」「男女共同参画社会の壁がある」、反対に「男女の壁はない、自信をもって生きればよい」という意見、「自分で正直に生きるには」「自分らしく生きるには」などの切実、かつ具体的な問題が討議されました。必ずしも女性の希望通りにいかない課題が多く残されているようですが、若い学生の方々がまず問題意識をもって「社会人」にな

る前から
一歩一歩
行動・実践すること
が必要
なので
ないで
しょうか。



木村美琴さん、佐藤貴伸さん

男女共同参画社会
基本法制度のあゆみ

もう死語となりかけましたが、戦前は「男尊女卑」という言葉が残っていました。参政権すらなかった時代があったのです。男女同権から一歩進んで男女雇用機会均等法が昭和六十年に制定され、平成九年に改正されてから十年が経過しています。平成十一年に「男女共同参画社会基本法」が施行され、男女共同参画社会形成の促進に関する基本的施策が示されています。第二条に、男女共同参画社会の

奥山教授の総括



その人らしく生きていくために自分ができること、人が支えることは何なのか、千葉大、千葉商科大、和洋女子大、そして本学から参加したパネラーの学生たちは真剣に考えていました。そのまじめさは、男女まったく変わりません。翠樟祭の折でもあり、県や地域の皆さんの広報のお陰で、会場にはさまざまな方が集い、意見が積極的に寄せられました。その幅の広さが、男女共同参画の課題の大きさと、解決策の多様さを示しているように思います。

用語の定義が明確に定められ、第三条以降では「男女の人権尊重」「社会における制度または慣行についての配慮」「政策等の立案及び決定への共同参画」「家庭生活における活動と他の活動との両立」などが明記されています。国の責務・地方公共団体の責務・国民の責務・法律上の処置なども記されていますが、男女共同参画社会の形成は、国際的協調の下に行われなければならぬとあります。基本施策を、国をあげて推進していますが、日本にはまだまだ多くの課題が残っています。

就職状況

【就職課】（八千代キャンパス）

今年の新卒採用マーケットは、企業の業績拡大で人手不足感が高まり採用活動の早期化が見られるなど、学生は昨年に続き追い風が吹く就職活動となりました。新卒大学生に対する求人倍率は二・一倍となり一五年ぶりに二倍台を回復しました。

本学四年生の就職内定率は、十二月現在で昨年に比べて七〇・八％高いペースの走りとなっています。業種別では、例年と同じく卸小売・サービス・福祉が多くなっていますが、今年はIT業界が増加しています。

堅実な就職意識を持ち、着実に活動した学生は、ほぼ全員内定を獲得しています。しかし特定の職業に過度にこだわっている学生などは、内定獲得が困難な状況は昨年と変化ないようにです。

過去3年間の主な就職先50社	
青山商事(株)	東京地下鉄(株)
曙ブレーキ(株)	東光電気工事(株)
(株)伊藤園	(株)トーカイ
エスエス製薬(株)	(株)トーモク
オイレス工業(株)	トリンプ・インターナショナル・ジャパン(株)
(株)大塚商会	(株)西川
(株)小田急トラベル	日本ハウズイング(株)
(株)オンワード樫山	(株)白洋舎
鹿島建設(株)	東日本電信電話(株)
(福) 共生会	日立キャピタル(株)
近畿日本ツーリスト(株)	(株)ビックカメラ
(株)クレディセゾン	(福) 八千代翼友福祉会
(株)群馬銀行	(福) 千葉県社会福祉事業団
三和シャッター工業(株)	(株)ブルーグラス
ジェイアンドエス保険サービス(株)	(株)ベネッセスタイルケア
(株)重松製作所	(株)ミキハウス
(医) 忠誠会 勝田台病院	みずほフィナンシャルグループ
(株)すかいらーく	三菱UFJトラストビジネス(株)
(医) 聖母会 聖マリア記念病院	(株)メデカジャパン
(株)セレスポ	メルキュールホテル成田
(株)そごう	(株)ヤマダ電機
千葉県警察	リゾートトラスト(株)
(株)千葉興業銀行	りそなグループ
東栄信用金庫	(福) ロザリオの聖母会
東急リゾート(株)	(株)ワコール

第一回「保護者会」を開催

台風一過、翠樟祭の二日目・一月二十八日(日)に保護者会を開催しました。当日は、三十一名の保護者の皆様に参加いただき、就職活動の説明やDVD上映の後、教職員との懇談会を行いました。後日のアンケートで頂いたご意見を参考に、来年で降更に充実したものになりたいと考えております。

キャリアアップ特別講座

本年度よりスタートした「キャリアアップ特別講座」は、六分野の各講座とも多くの学生が参加し、順調に実施されています。成果の多くは、今年後半から来年度に実現しますが、十一月に発表された旅行業務の国家資格に八名の学生が合格しました。

【学生生活課】（十条台キャンパス）

一、短大の就職状況

本年度の一般企業への就職状況は昨年度並みに好調に推移し、現在、就職内定率は、言語文化コミュニケーション科では七五％、ビジネス心理科では八三％となっていますが、未内定の学生たちもまだ積極的に関職活動をしております。

幼児教育科では例年、保育職・一般企業への就職・進学を含めて卒業生の九〇パーセントが進路を決定しています。卒業生の八〇パーセント超が保育職として巣立っています。保育職の就職活動は秋以降が本番で、学生たちは現在一生懸命就職活動に打ち込み、健闘しております。今年度も良い結果を出せそうです。

本学では一般企業・保育系共に教職員一丸となり、一年生後期からきめ細かく進路支援を行っております。

二、子ども学部就職状況

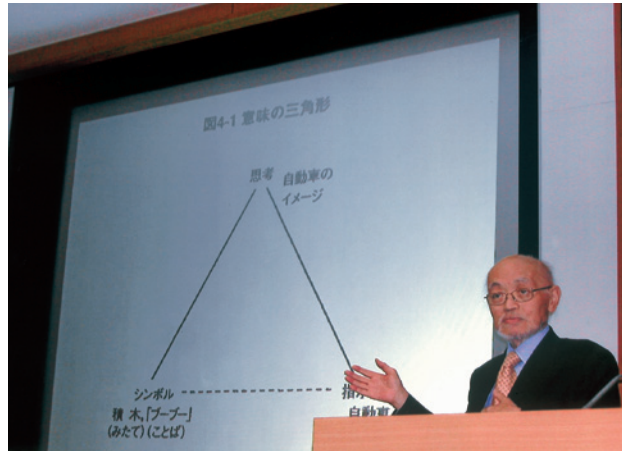
子ども学部第一期生の進路が決まり始めました。子ども学部では四分の一が一般企業、残りが就職を希望しております。

一般企業では子供服・玩具・アミューズメント等の子供関連企業、他に、保険・不動産・アパレル・民営化後の郵政関連事業会社等への内定を得ています。

就職関連では、公立幼稚園・保育園、私立幼稚園・保育園から内定を得た学生も出ており、学生の就活は熱気を帯びています。また国立大学の大学院合格者も二名出ています。

子ども学部では、三年生前期は「職業適性論」などの講義・演習を通して将来のキャリアビジョン構築を指導、後期からは、よりきめ細かく実践的に進路支援を行っております。

過去3年間の主な就職先50社・園	
短大	子ども
株式会社伊勢丹	石川玩具株式会社
株式会社オンワード樫山	株式会社ジェイネットコーポレーション
近畿日本ツーリスト株式会社	第一生命保険会社
北野建設株式会社	東京建物アメニティサポート（不動産管理）
城南信用金庫	日本トイザラス株式会社
株式会社JTB首都圏	はるやま商事株式会社
東京ベイ有明フシントンホテル株式会社	マイナミアミューズメント株式会社
株式会社なとり	ミキハウス株式会社
日本アンテナ株式会社	郵便局株式会社
マルイグループ	郵便事業株式会社
株式会社三菱東京UFJ銀行	ユニコムグループホールディングス株式会社
ユニチカ株式会社	ライフサポート株式会社
りそなグループ	株式会社ルネサンス
大田区（保育士）	北区保育所
習志野市（保育士）	新宿区（保育士）
練馬区（保育士）	葛飾区福祉職員
東京成徳短期大学附属幼稚園・附属第二幼稚園	和光市役所
白梅幼稚園	飛鳥すずめ幼稚園
上尾幼稚園	こみね幼稚園
富士見台幼稚園	しろがね幼稚園
みぬま幼稚園	白うめ幼稚園
大宮幼稚園	東京成徳短期大学附属幼稚園
篠崎保育園	ひかり学園
鎌倉保育園	府中白百合第二幼稚園
杉の子学園保育所	吹上幼稚園



心理学研究科長 教育学博士・教授
杉原 一昭

私はこの四十年間、いろいろな子どもときあい、子どもの本当の姿を見てきた。しかし、一九八〇年代から子どもが引き起こす事件に異変が起こった。

その経緯と今後の対応策について考究した。

一、どう変わったか

成績優秀な子どもが自分の肉親を殺害するという三つの事例を紹介

二、なぜそうなったか

条件の一つ、とんでもないことが起こっていると憂慮する次第。

問題は重大だが、単純……。パーチャル(虚構)な世界と現実な世界の区別がなくなってきた。

あるいはパーチャルな世界が現実の先にある。例えば、閉眼接指(目を閉じて、両手の中指を接触させる)の成功率は、この四十年間で大幅に低下している。昔はできたのに、今はできない子どもの方がはるかに多い。田中ビネー知

能検査のデータによると、指先の(感覚運動的)活動の発達は遅れ、ことばの発達が進んでいるというデータがある。

三、どうすればよいか

例えば「死」の意味(概念)が混乱している。「死」の現実の前に「死」のイメージ(パーチャル)が発達する。「自殺ごっこ」事件では、小・中学生三名が「前世を見たい」とシナリオを書き、それを実行した。「シナリオ(ことば)に行動(自殺)を従わせようとしたのである。「死」は寝ることと同じ、「死」は終わりではない。リセットボタンで生き返るという大変危険な連想だったのではないか。

解決は簡単である。感覚運動、五感、実体験をさせればよい。昭和四五年に上梓された「五育育児法」国分義之、平成十七年に上梓された「身体知・身体が教えてくれること」内田樹・三砂ちづる氏らの著書にも明記されている。手足を使う実際の体験(昔ながらの

遊び・動物飼育・植物栽培・実際の人間関係)↓テレビや本、体を使い、戸外で、友だちと遊ぶ↓テレビゲーム、対面会話・やりとり↓それがメールというように変わってきている。

子どもにメールをやめさせるのも一案である。

四、「援助的サマースクール」

私はサマースクールを四十年間やってきた。以前は三歳〜六歳児を対象に九泊十日の幼児キャンプを行い、流水の沢登りを一キロも行った。最初は泣き出す子も昇り始めると試行錯誤を重ね、無口で真剣となり達成感を味わうと自信がつき、またやりたいと意欲がわく。

現在は学園の研修施設戸隠グリーンで、小中学生を対象に五泊六日の合宿を行っている。十九年夏は幼稚園児、自閉症、ダウン症、ADHD・知的障害児八名を含み四十四名が参加した。

「自分を、相手を、物を傷つけない」という三つの約束、決まり以外は何をしても自由である。今の子どもは偏食が多い。朝のバイキングでご飯に醤油をかけただけの子もいた。その子が野菜を食べるようになったり、早くと言われなくても時間通りに生活できるような奇跡の数々もある。



▲キャンプ風景

基礎は「ことば」ではない。身の人と人とのぶつかり合い、そこでいろいろな能力が育つ。(身体知) 指示対象とのつながりが最重要である。

身につく力として「がんばる力」(達成感、耐性、自信(やればできる)、生活力(身体知)をしつかり体得さすのがサマースクールの意図である。

○十月二十七日、八千代キャンパスで行なわれた市民対象の公開講座(本学主催・八千代市後援)の内容を要約したものです。

平成十九年度臨床心理士資格試験 抜群の合格率二十六名合格

昨年度末に試験結果が発表になった。全体では二十六名が合格、平成十八年度修了生は九十一%という高い合格率であった。

大学

福祉心理学科 全国盲導犬使用者交流会に学ぶ

昨年十月二十一日〜二十三日の三日間、第十三回全国盲導犬使用者交流会「千葉大会」が開催されました。この大会は盲導犬使用者の方々が一般の方々と同じような生活体験をし、具体的な障壁の解消をする機会として開かれていきます。初日は千葉県労働者福祉センターで研修会、二日目はバリアフリーへの取り組みを進めるホテルで宿泊、東京デイズニールランドでの交流会、三日目は東京湾アクアライン、海ほたるでの交流会と盛り沢山の内容です。



▲大会初日研修会

全国から参加される方々のため、東京駅・千葉駅・空港などには地域のボランティアの方々が迎え、乗り換えに万全の誘導をされました。

福祉心理学科では宮本教授・今准教授・朝木助教が引率し、二年生の研修の場として初日のお手伝いを致しました。駅からの誘導、受付&クロック、会場内の誘導など、はじめて盲導犬と接する学生がほとんどだけに細心の注意が必要だったようです。学生の感想をご紹介します。

受付&クロック係を担当して

福祉心理学科 二年 西□まり

まず感じたことは、視覚障害者の方と接する時の姿勢の難しさです。普段暗眼の方と話す時は、眼と眼を合わせて、身振り手振りをつけなければ難なく言葉が伝わります。ところが視覚障害者の方と話す時は目線も動作も通じないので、最初の内は「なぜ、伝わらないのだろう」と戸惑ってばかりでした。重要なことは「まず声を出すこと」視覚障害者の方は、音で周囲の状況を認識しているので「できる限り大きな声ではっきり



▲受付風景

と話しかける」ことを心がけました。その際は「あちら」「こちら」「あの」「この」などの言葉は絶対に使ってはいけないということを知りました。暗眼の人は、何気なく眼から多くの情報を取り入れていることも同時に知ることができました。「触覚」も大変重要でした。パンフレットを渡すという行為の中でも、まず手に軽く触れてからパンフレットを渡すとすんなり受け取ってくれる。パンフレットの中身が墨字か点字、なにが書かれているかなどの説明も必要でした。視覚障害者の方々は、視覚以外の残存機能をフルに活用されているのでスゴイと感じました。授業で「声や音を出すことが大事」と習いましたが、現場でその重要性を再確認しました。今回学んだことを生かし、今後の活動に生かしていきたいと思っています。

市立習志野高等学校出身（千葉県）



▲受付

大学

国際言語文化学科 留学生 資格取得「日本の国家試験」合格

本学では学生の夢の実現をお手伝いするために「キャリアアップ特別講座」を昨年開設し、今年是国内旅行業務取扱管理者に七人、総合に一人の合格者を出しました。なかでも外国人留學生の陳木花さんが初回挑戦で見事に合格しました。この資格を生かして、陳木花さんが活躍される日が楽しみです。

「国内旅行業務取扱管理者試験」に合格して

人文学部国際言語文化学科 アジア言語文化専攻中国コース 二年 陳 木花



私はもともと旅行が好きなお仕事もあり大学で「キャリアアップ特別講座」を通して、試験勉強を始めた。日本では日本語が話せるだけではなく、プラスの専門知識、能力を身につけることが重要だと考えます。これからは、さらに難しい総合旅行業務取扱管理者をめざして、好きな観光に関する知識を深めていきたいと思っています。

湖北省咸寧市衛校出身（中国）

大学

国際言語文化学科 九期生（平成十七年卒） 依田さんの快挙

依田真由美さんは、本学三年次在学中に四〇〇字×六〇枚の作品「乙女チックにヴァイオリン」を僅か二週間で書き上げ見事第八回「コスモス新人賞」を受賞されています。この度また、嬉しい便りが大学に届きました。第一七回「全日本アートサロン 絵画大賞」に写真部門として水彩画で応募したところ、見事入選されたのです。

タイトルは「百合の花を抱く女形」で二月七日から一八日まで東京六本木の国立新美術館に展示されます。

依田さんの喜びのコメントです。「とにかく嬉しくて嬉しくて、天に昇る気持ちというのはこのように言うのかと思います。」

東京成徳大学高等学校出身（東京都）

子どもの最善の利益に
基づいた問題解決の研究を

子ども学科講師 半田 勝久



近年、いじめが主な要因となり、子どもたちが自ら死を選択するケースが相次いで報告されている。こうした社会事象を大きな問題と捉え、国レベル・地域レベル・学校レベルにおいて子どもに関する相談・救済制度の整備が急務とされている。

子どもの相談・救済活動においては、子どもの特性・固有性に寄り添った活動が必要とされる。その基底をなす考えは、そうした活動が子どもの最善の利益に基づいたものであるかどうかである。どの場面にも子どもの心に寄り添った解決方法、すなわち、おとなが解決をあてがうのではなく、子ども主体の解決、子ども特有の解決を目指すことが求められる。

こうした制度にかかわるおとなの課題は、子どもの傷ついた気持ち

を受けとめ、それぞれの子どもにとっての最善の利益とは何かをともに考え、子ども自身が元気になるようなアプローチをとれるかということである。換言すれば、おとなの視点としてではなく、子ども自身がエンパワメントできるような環境をいかに整備できるかということである。

子ども学の視座としては、こうした制度や地域のネットワークをどのように構築していくかという制度学的アプローチ、カウンセリングや面接をどのように行うかという心理学的アプローチ、ソーシャルワークという視点からの福祉学的アプローチ、さらには、子ども自身がどのようにエンパワメントされていくのかという子どもの側にたったアプローチからの研究が期待される。

いじめの件数

連日報道されるいじめに起因する悲惨な事件、文部科学省の調査によると二〇〇六年度のいじめの認知件数は二二四、八九八件もありました。学年別に見ると中学一年生が最も多く、性別では男子が五三%、女子が四七%でした。

研修旅行を終えて

子ども学部1年 山中 美友紀

子ども学部では従来一年次に行ってきた韓国研修旅行を十九年度は中国に変えました。北京五輪を目前に、中国は大きく変わりつつあります。天津大学のご高配で大学のドミトリリーに三泊、北京飯店に二泊という五泊六日の研修でした。三年生は米国西海岸、サンフランシスコへ五泊、ロサンゼルスへ三泊という密度の濃い研修でした。



つたと実感していません。四日目を以降は北京へ移動し、実際に万里の長城を始めとする歴史的建造物の数々を訪れ、日本文化の元にもなったといわれる中国文化にも触れることが出来ました。また、中国で過ごす中で中国語への関心が高まり、先生に簡単な会話を教えてもらったり、友人と声に出して練習したりしたことがとても印象に残っています。

あっとい間六日間でしたが、実に充実した日々でした。私は今回の研修旅行を通して、これからは子どものことだけにとどまらず、普段からさまざまなことに視野を広げていきたいと思いました。中国での経験を、何らかの形で生かせればと思います。

県立成田国際高等学校出身 (千葉県)

アメリカでの貴重な体験

子ども学部3年 高嶋 円

今回の海外研修で私は初めてアメリカに行きましたが、そこでの経験は私にとって本当に新鮮で驚かされることばかりでした。

サンフランシスコとロサンゼルスで様々な施設や観光名所などを



訪問しましたが、中でも強く心に残ったのはサンフランシスコ州立大学での受講体験でした。レーナ・ダール教授による「アメリカの幼児教育政策」と、ウェンデル・ハンナ教授による「幼児のための音楽教育」と題する講義でした。実際に大学の先生方の講義を受け、アメリカにおける幼児教育の方針などについての話を聞きながら、日本の幼児教育との違いを考えることができました。また、音楽に合わせてする手遊びや運動遊びでは先生の動きを見て、私たちも一緒に体を動かしながら楽しむことができました。短い期間ではありましたが、たくさんものを観て触れて、とても充実した十日間になりました。今回の研修で学んだことを今後の進路に生かしていきたいと思っています。

県立越谷南高等学校出身 (埼玉県)



短大

第二十一回保育研修会

テーマ「子どもの未来・保育の輝き」

幼児教育科の保育研修会が十一月十七日(土)に本学多目的ホールにて開催されました。保育研修会は毎年一回、卒業生のリカレント教育及び社会的貢献を主目的として実施されるもので、当日は学長先生はじめご来賓の先生方をお迎えし、卒業生や現場の保育者、本学の学生など多くの参加者が集いました。二十一回目となる今年度は「子どもの未来・保育の輝き」をテーマとし、午前にオープニング・セッションと講演、午後には保育の現場で課題となる子どもや保護者への対応、保育技術の指導など6つの分科会を実施いたしました。分科会では講師の熱意ある指導のもと活発な議論や楽しい実技



▲右 渡邊理事長 左 本学 安見教授

の実践が行われ、参加者からのアンケートからも有意義な研修会であったとの感想をいただきました。講演と分科会の内容を研修会のパンフレットから紹介いたします。

一. 講演「子どもが育つおもちの栄養」

NPO法人日本ケトルトイ委員会理事 多田 純也

おもちゃはその国の文化水準をあらわすともいわれ、おもちゃは大人がどれだけ子どもを大切にすることをまじめに考えているかをあらわすリトマス紙のようなものです。子どもに「遊びの栄養価」の高いおもちゃを選ぶことは、心の栄養が必要という、「心の食育論」を大切にする視点と同じです。子どもの成長に不可欠なおもちゃや遊びを手がかりに子どもの育ち、保育の喜びを考えてみませんか。

二. 分科会A「気になる子どもの対応について」

本学非常勤講師 柿澤 榮美

国立秩父学園 可児 和子
【柿澤】気になる子どもが示す行動(多動、パニック、こだわり、集中力の短さ、衝動性、簡単なルールを守れないなどの社会性の問題行動など)をどのように理解して、どのように対応していくかを参加者のみなさまとともに考えたい。【可児】座っているのが苦手な子ども。無理に座らせようとパ

ニックになる、そんな経験はありませんか。そんな時の子どもへの気持ちは「何をするのかわからない」「他の事が気になる」のかも知れません。困っている子どもの気持ちに寄り添って対応を考えてみませんか。

三. 分科会B「気になる保護者の対応について」

初音丘学園理事長 渡邊 眞一

【渡邊】子育て支援は「子どもが育つ支援」であり「親が育つための支援」です。子育てはわが子と親と先生のハートモニー。子どもと共に育つ親、そして先生(保育者)でありたい。さて、気になる保護者(親)の対応はいかに。【安見】少子化と急速な社会変化の中で、近年保護者からの苦情や要求に、保育者が対応に追われています。些細なことでも両親や父親が園に向き、思わぬ事件に発展するケースや保護者同士がいがみ合うなど、園と家庭、地域の育ち合いが問われています。実践事例を持ち寄り、解決策や保護者への対応のあり方などをゲストの先生と一緒に考えてみたいと思います。

四. 分科会C「子どもの心をつかむアイデア遊び」

東京家政大学准教授 花輪 充

遊ぶこととは(創意工夫の極み)とでも表現したらいいでしょうか。子ども大人の区別なく、



▲本学 杉本講師

六. 分科会E「ことばの魅力・ことばの魔力」

松庵保育園園長 橋爪 邦子

「絵本の読み聞かせ、お話しりは心育で」不思議の世界が大好きな子ども達に、あなたの声であなただのお話を届けましょう。お話しりという種が鳳仙花のように次々とはじめて、あちこちに根付いていつてほしいと願っています。お話しりの花をみんなであかせましょう。

七. 分科会F「ひとあじ違うおもちゃのレシピ」

クワフト作家 黒須 和清

凶工なんか嫌い!だって私って不器用だし...!いつも言っているあなた。こんな手作りおもちゃの世界があるのを知っていますか?とても簡単でよく動いておもしろい。この究極のレシピだけマスターすれば、工作好きの子がどんどん増えます。あなたはもう工作名人。

五. 分科会D「自分で描くかんたんイラスト」

本学専任講師 杉本 亜鈴

みんなに愛されるかわいイラストターたち。しかし同じイラストターばかり描いてしまうと子どもや著作権などの問題もあります。今回はキャラクターの魅力を解析するとともにオリジナルキャラクター作りに挑戦します。



▲「子どもの心をつかむアイデア遊び」

短大

企業から見たビジネス心理科



「徳」は新しい地平線を拓く
時代の「シナリオ」

ビジネス心理科長 松坂 被宣

九月初めから十月末にかけて、ビジネス心理科の卒業生が就職している企業五〇数社の人事部採用担当者の方々と個別に訪問し、懇談する機会を頂きました。「うちの学生を受け容れて頂き有難うございます。職場でお役に立っているでしょうか。」と切り出しますと、「はいっ！ 明るく、素直で、おおらかなところがいいですね。仕事はみんな成し遂げるものだと思っていますよ。だから先輩から信頼されて・・・、伸びますよね。」と多くの方々から良いお話を伺えました。

また、五〇数社のなかに、銀行二行と信用金庫一社が入っていて、三人の採用担当者の方々から次のような同じお話を頂きました。

「私達にとって一番大事なことは、お客様から信頼していただくこと、なんです。相統のご相談に応じたりする時、法律の知識なども必要ですが、なによりもお客様の求めていることをきちんとして、誠意をもってお答えする。お客様から感謝されたときの喜びを仲間と分かち合うことができる。素晴らしいではありませんか。成徳の学生さんは地味ですけれど知識だけではなく大切なものを学んでいるように思いますよ。」と。

ビジネス心理科は、心理学、マーケティング、情報処理、コミュニケーション、など実務の知識を身につけることが出来る学科ですが、外から、企業から見ていると、「成徳II 徳を成す」の理念が学科を支えているように感じられるのではないでしょうか。経営学においても、「徳」は新しい地平線を拓く時代のコンセプトであり、これから注目されることではないでしょうか。

今回の訪問先は、東京・埼玉・千葉に本社を置く企業でしたが、もう少し神奈川県などの県にも拡げてみたいと思いました。

大切な人材を企業にお願いする。マーケティング専門の三人の教員によるこの調査結果をフルに活用し、適材適所の言葉通り、学生の志望先の企業のニーズを満たすよう指導していきたいと思えます。

短大

国家資格の「国内旅行業務取扱管理者」試験に短大言「三」学生九名合格

十一月になって、すぐ、嬉しい知らせが飛び込んできました。「国内旅行業務取扱管理者」の試験に、言語文化コミュニケーション科の学生九名が合格しました。

難関の国家試験であり、短大の学生の合格率では全国トップクラスの快挙となりました。昨年の雪辱をはらした二名の二年生。そして七名の一年生は、観光の勉強をはじめて半年での合格。授業中の集中的な指導が実を結んだことに本学スタッフも大喜びの一日となりました。後輩の学生もこの勢いを引き継いでいくことでしょう。

十一月になって、すぐ、嬉しい知らせが飛び込んできました。言語文化コミュニケーション科の「観光コース」は、ますます充実してきました。多くの受験生が集まってくれることを期待しています。

本学の特徴は、ホスピタリティ精神と広い視野をもった観光人の育成。資格も国家試験だけでなく、「観光ビジネス実務士」、「ホテルビジネス実務検定」など、観光関連のものはもちろん、英語・日本文化というジャンルが充実していますので、いろいろな可能性を身につけることができるのが「観光」の良さです。

短大

「アジア地理の旅」返還されて十周年の香港に

言語文化コミュニケーション科教授 秋山 秀一

短大で継続的に実施されている海外研修旅行「アジア地理の旅」では、今まで、シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、韓国、香港などアジアの国々を訪れ「地理の目」をもつて、実際に街歩きや自然の中を歩くフィールドワークをメインに実施してきました。

そこで体験した様々なことが、卒業後も大いに役立つようです。

平成一九年度は、香港が英国から中国へ返還されて十周年目の年となることから、香港をメインの行き先として、実施しました。

香港政府観光局の後援も得て、

事前研修も行いましたが、あくまでも現地でのフィールドワークを最重要に考えて行いました。実施時期は夏季休業中の九月中旬の六日間の日程で、国内旅行業務取扱管理者の試験日の翌日に出発日を設定しました。

香港には様々な顔があります。

ウィクトリア湾で眺めた夜景、自然たっぷりのラマ島ハイキングや集落めぐり、ビーチ



▲世界の名所 香港の夜景



▲香港の歴史を見続けてきた時計塔

平成十八年の国内旅行者数は約四・二億人

東京都の調査によると、平成十八年に東京都を訪れた外国人は約四八一人（七・一％増）、国内旅行者は約四・二億人（三・七％増）と順調な伸びを見せています。訪都旅行者が都内に及ぼす生産波及効果及び雇用効果は九・四兆円（七・四％増）、五三万人（五・六％増）です。内外国人旅行者によるものは七千四百四十六億円（一七・六％増）、四・二万人（一九・二％増）となっています。

この九・四兆円は、都内生産額の五・七％（〇・四％増）に及んでいます。

二十五カ国の中学・高校教職員団が来校 国際交流基金の招聘で

去る十二月十三日午後、独立行政法人国際交流基金の招聘で来日されている二十五カ国・二十七名の方々が本館（中高一貫部）を訪れました。ご一行は十二月六日に来日され、十八日までの十三日間で東京・広島・京都などを訪れ、日本の教育事情を視察、文部科学省や東京都教育委員会のレクチャを受け、幼稚園・小学校・中学校・高等学校を見学するスケジュールです。東京の高校では日比谷高等学校と本校を訪問・見学されました。

本校では木内校長、中村本館教頭、国際交流委員会渡辺委員長、本館英語科茂原主任がお客様の対応にあたりました。木内校長は「昨日みなさんが訪れた日比谷高等学校は、かつては東京大学への入学者が日本一であった。最近挽回してありますが東京大学への入学者の上位校はプライベートスクールが占めている」と私立学校の教育内容の充実ぶりを説明。東京成徳の歴史、教育内容の特色について説明されました。あいにく授業がない日でしたので、生徒の一日をVTRで紹介した後、中村教頭他教員が校舎の施設を六階から順にご案内。

武道場では男子剣道の練習中で、みなさん生徒の迫力ある竹刀さばきにびっくり、体育館では日本のトップレベルの高校女子バスケットボール部の練習風景、そのスピードに感服！

日本庭園のある和室では「こうやれば正座できるのかな」とトライする先生も。ヴェリタスホールや情報図書館の素晴らしい設備には感嘆されていました。校内見学の質疑応答では予定を一時間も超える白熱ぶり、最後に中村教頭が「みなさんにお伺いしたい。日本は少子化のため生徒募集に大変な努力をしているが、生徒募集に苦勞されている学校の方は拳手をお願いします」と問うと、拳手はわずかに四〜五名。英国の教員の方がやはり日本と同じように生徒募集に苦勞されているという答えでした。

ご一行はこの見学の成果に大満足のご様子、最後にみなさんの署名入りの感謝の色紙をいただいた位です。

国際交流基金のご配慮に感謝し、日本の学校の教育方針が各国の教育に役立つことを願っています。

独立行政法人国際交流基金
ジャパンフアウンデーション

世界各國が日本に対する理解を深め、国際的相互理解を深めるため一九七二年に設置されました。諸外国との文化交流の拡大をめざす、日本の文化外交を担う中心的組織です。二〇〇三年に独立行政法人となり、事業が時代の要請に一層効率的且つ有効に推進されるように大規模な改革が行われました。

主な事業として「文化芸術交流」「海外における日本語教育」「日本研究・知的交流」「情報センター」などがあります。

世界の人口と日本の少子化

世界の人口は現在六十六億五千万人を超え、一日で二千万人、一年で八千万人増加しています。（米勢調査局、国連統計のデータから推測）

日本の人口は一億二千七百七十七万人。毎日二九七五人が生まれ、二九九二人が亡くなっています。

（平成十八年総務省＆厚生省 各国ごとの人口数では中国が世界の人口の約二〇％を占め断然一位、インドが二位、アメリカは三位です。ヨーロッパU二七カ国合計で四億九千万人いますが、中国・インドの合計の約二〇％です。）

日本は第十位ですが、年々総人口が減少傾向にあるだけに、フランスのような思い切った政策で出生率を回復させることが大きな課題となっています。



▲木内校長あいさつ



▲ヴェリスタホール見学



▲校内の説明



▲和室で正座

別館高等部

ラクロス部U19世界大会での活躍



今年八月、U19ワールドチャンピオンシップというラクロス世界大会がカナダで開催され、本校からはU19日本代表として3C水戸理恵さんと6-2石井美帆さんが出場しました。二人ともまだ17歳でしたが、飛び級で日本代表に選ばされ、本大会では水戸さんがスコットランド戦において最優秀選手として活躍しました。

別館高等部

よくやった、サッカー部
西が丘に響き渡った東京成徳コール

十一月十一日(日)午後一時三十分、全国サッカー選手権東京都予選の準決勝が始まった。

東京成徳vsつばさ総合。本校サッカー部は望月監督を迎えて四年目のまだ若いチーム。その実績は昨年やっとなら大会に進むことが出来た程度だ。しかし、今年は違う。ここに進むまで、強豪保善高校、堀越学園等を次々と撃破し、堂々とこの準決勝に駒を進めた。鮮やかな緑の芝生が目に見えるグラウンドは、東京成徳の選手たちを大きく輝かせ、まさに準決勝にふさわしい演出をしている。スタンドを見れば、東京成徳生八〇〇人、保護者、教員、OB、サッカースクールの子どもたち等二〇〇人、計一〇〇〇人の大応援団が紫のメガホン片手に集結している。試合開始のホイッスルと同時に、本校自慢の応援委員会、ブラスバンド部、チアリーダー、そしてベンチ入りできなかったサッカー部員たちが中央で音頭をとり始めた。それにあわせ、大応援団一〇〇〇人の声援は、空を引き裂かんばかりに西が丘の杜に木霊した。その「東京成徳コール」に応え、選手はすばらしいプレーを連発した。2-0、無情の終了ホイッスルが鳴り、残念ながら敗退。しかしすばらしい試合であった。選手と応援団が一体となり、これこそが東京成徳！を思わせる幸せな時間であった。ありがとう、サッカー部、そして東京成徳生！

▲世界の舞台で活躍する水戸理恵さん

十一月十一日(日)午後一時三十分、全国サッカー選手権東京都予選の準決勝が始まった。



▲西が丘競技場での準決勝戦

深谷高校

平成十九年度 持久走大会開催される



十二月二十一日(金)に全校集会場で表彰式がありました。男
子は一〇位まで、女子は三〇位ま
での生徒が壇上にあがり、大澤校
長のねぎらいの言葉と共に賞状が
手渡されました。部活動で平素鍛
えてきた生徒が上位を占めていま
したが、壇上から降りてくる生徒
はみな誇らしげな笑みを浮かべて
いました。

(深谷市立深谷南中学校出身)

昨年の雪辱を果たす!

三年 塚越洋平
昨年は、惜しくも二位で終わっ
てしまいとても悔しい思いをした
ので、今年是一位をとることだけ
を考えました。サッカー部の活動
を引退してからは、受験勉強の
日々で、運動する機会が少ないの
で大変でした。

(深谷市立 川本中学校出身)

最後まで諦めず連続優勝!

二年 石川裕美
一年の時優勝しているのので、今
年の大会も優勝することを考えて
走りました。走っている間はずとて
も辛く、苦しかったです。そんな
時すれ違う先輩や友達、たくさん
の人の声援のお陰で、強い気持ち
で最後まで走りきることができま
した。最後まで諦めず走りぬいた
ということが、大きな自信を得る
ことができました。これから先、
辛いことがあっても最後まで諦め
ず立ち向かっていけば必ず何か大
きなものを得ることができると思
います。これからも、何事にも全
力で立ち向かっていきたいです。



深谷高校

第四三回 桐蔭祭ますます盛大に



九月十五日(土)・十六日(日)
にかけて「超特急成徳深谷四三号」
のテーマの下、桐蔭祭が盛大に開
催されました。
「青春を成徳深谷で走り抜ける
エネルギーを感じていただけれ
ば」、「生徒たちは催し物や発表・
展示など、皆様とご一緒に楽しめ
る内容にすべく努力しました。ど
うぞお楽しみください。」と大澤
校長。
その紹介通り、本館前にはモザ
イクの壁画「世界の名画」がお出
迎え、趣向をこらした飲食「食べ
る・飲む」の喫茶や模擬店が三〇
カ所、イベント・展示などの「遊
ぶ」企画が三六カ所、更に作品展
示やFアリーナでのライブやパト
ントワリング部・ダンス部による
演技が披露された「見る・聞く」
と盛り沢山の内容でした。
桐蔭祭見学をかねて進学相談に
こられた親子も多く、深谷名物の



▲ピナスの誕生

▲最後の晩餐

幼稚園

クリスマスコンサート 母親コーラス初デビュー

十一月二十九日、ヴェリタスホールにおいてクリスマスコンサートが開催されました。

第二部で本園の母親コーラス「りんごの木」が初のお目見え、「みんなで歌おうクリスマス」のコーナーでは園児たちもいっしょに合唱し、大いにクリスマス気分を盛り上げました。このコーラスグループは園児たちのお母様方の横の連携を強めようと大武教頭が提案して昨年五月八日に発足しました。幼稚園の正門の一番近くにあるりんごの木にちなんで「りんごの木」と命名され、まさにりんごの花が咲くころにスタート、りんごの実がなる時期にデビューしたのです。東京成徳短大で声楽を指導されている榎本太麻子先生（非常勤講師・二期会所属）の熱心な指導のお陰で、月一回の練習にも拘わらず見事なハーモニーを披露されました。年少組から年長組までのお母様一五名のメンバーの内、お子様をつれて練習に参加される方が四名もいらつしやう、その熱意が今回の成果として実ったようです。このコーラスグループの輪がますます広がることを期待されます。



▲コーラス「りんごの木」初デビュー

幼稚園

サンタクロースがやってきた

十二月十七日、園児たちが楽しみにしていたクリスマス会が開かれました。先生方がどうやって園児を喜ばせるかと趣向をこらし、「〇×サンタクイズ」「キャンドルサービス」、大勢の先生方が熱演された劇「大きなかぶ」などで園児を大いに楽しませました。「早くこないかなー」と待ち望んだサントさんがフィナーレに登場してプレゼントを配りはじめる会場は騒然、素敵なプレゼントに園児たちは大満足の様子でした。



▲プレゼントに大はしゃぎ

第二幼稚園

ハートフルサッカーを楽しむ

埼玉県は全国でもサッカーの人氣が高い地域で、Jリーグ「浦和レッズ」のサポーターは日本一と言われています。

さる十一月二〇日、ハートフルサッカーが本園で行われました。元浦和レッズの選手であったコーチの指導でボールの基本的操作を教わった後、大きなゴールめがけて皆でシュートを決める体験をしました。コーチが合図の声をかけても、はじめは遠慮気味なシュートだった園児も、次第に自信が

き力強いシュートが打てるようになりました。その後チームに分かれて試合を始めると、子どもたちの声援が飛び交い活気溢れる試合となりました。

試合開始と終了時に両チームの選手たちは顔を見合い、握手をして挨拶をかわしました。「試合では敵でも本当は大切な仲間だからしっかりと挨拶するんだよ」と教えてくれたコーチの言葉に深く頷く子どもたちの表情が印象的でした。



▲サッカーの基本を学ぶ

第二幼稚園

カ士も参加し、おもちつき

十二月十八日、寒さが厳しい冬の空の下、恒例の母の会主催のおもちつき会が行われました。子どもたちは何日も前から楽しみにしながら、遊びの中でお相撲ごっこをして当日を迎えました。園庭では、おもちつきとお相撲を併せて鏡餅作りが親子で行われ、「神様にあげるんだよ」と会話をしながら楽しんで作る姿がみられました。またお餅つき後には、力士同士の取

り組みが行われました。迫力のある光景に息をのんで見つめる子どももいましたが、勝負が決まると満面の笑みを浮かべ、おもちつき会を十分に満喫していました。



▲カ士といっしょに

クラブ活動の成果

深谷高等学校



ミスダンスドリルチーム 日本大会2007
リリカル部門第1位
ミスダンスドリルチーム部門第2位 沼尻美紀

東京校



栄ある準優勝 高校女子バスケットボール部
(全国高校選抜)

準決勝で聖カタリナ女をくだし、4大会ぶり5度目の決勝進出を果たすも決勝戦で桜花学院(愛知)に惜敗。

大学

男子バスケットボール部 関東大学リーグランキング20位を堅守

高等学校(東京)

剣道部 国民体育大会関東ブロック大会 第2位
全国高等学校総合体育大会都予選 団体3位 個人3位

男子サッカー部 全国高校サッカー選手権大会 東京都第3位

バトントワリング部 マーチングバンド・バトントワリング関東大会優勝

ラクロス部 ティーンズカップ 優勝
オータムカップ 優勝

ソフトボール部 インターハイ予選 準優勝

書道部 高野山競書大会 協会賞 飯田久美子 笹田香織 平岡一利
大東文化大学全国書道展 推薦 紅谷冬鶴 土肥紫織
国際高校生選抜書展 入選 増子遥 竹内千智

深谷高等学校

野球部 秋季県北新人大会 準優勝

女子バレーボール部 北部支部秋期大会 3位
埼玉県バレーボール優秀選手 瀬戸口あかね

パワーリフティング部 全日本選手権大会 6位 坂大樹(+82.5kg級)

サッカー部 県北支部新人戦 予選リーグ1位
決勝トーナメント準決勝 PK戦で惜敗



中学校

吹奏学部 朝日新聞社主催全国吹奏楽コンクール東京都大会 銀賞

女子バスケットボール部 東京都総合体育大会 第2位

水泳部 東京都総合体育大会 200m個人メドレー 第1位 岡田涼
東京都選手権水泳競技大会 200m自由形 第1位 岡田涼
東京都中学校学年別競技大会 200m自由形 第1位 岡田涼
全国中学校競技大会 400m自由形 第5位 岡田涼

新刊コーナー

本学園の教員が原則として平成19年に上梓された著書をご紹介します。(順不同)

大学人文学部

「抽象的人間労働論の哲学」

二一世紀・マルクス可能性の地平

日山紀彦著

御茶の水書房 9,000円(税抜) 発行18年11月20日
 従前の「抽象的人間労働」「概念の誤読」を「物象化論の論理と構制」に依拠して解説し直す試み。二十世紀におけるその誤読と歪曲の超克であり、マルクス思想の二一世紀的意義・有効性の確認作業でもある。

「歴史考古学大辞典」

増尾伸一 部分担執筆 「呪符木簡」「須弥山」「出羽三山」など20項目。

吉川弘文館 33,600円(税抜) 発行19年2月20日
 歴史学と考古学をはじめ、美術史、民俗学、宗教学、建築史など隣接する諸分野の成果を総合し、複合的な視点から新しい歴史像を提示する大辞典。

「訳注 日本資料 延喜式(中)」

増尾伸一 部分担執筆 巻16「陰陽寮」の訓読と注釈(50頁分)

集英社 36,750円(税抜) 発行19年6月10日
 日本古代の律令法に関する最大の法令集成(10世紀成立)の詳細な注釈書。全3巻のうちの第2巻目。全巻にわたる注釈は今回が最初である。

えんぴつでなぞる・CDで歌える 百人一首

青柳隆志監修 岡田崇花著

ナツメ社 1,764円(税抜) 発行19年11月6日
 日本人なら覚えておきたい「百人一首」を、本書では鉛筆でなぞって、CDで聴いて、楽譜を見ながら伝統的な節で歌って楽しむことができます。2枚のCDには、宮中の「歌会始」で行われている伝統的な吟詠を収録しています。



「韓国語学習Q&A 200」

李允希(イ ユニ) 共著

株式会社アルク 1,890円(税抜) 発行19年6月
 韓国語の学習を進める中で突き当たった疑問や難問に答えるための参考書。地方では韓国語を独学する人が多いため、「学習方法」「発音の疑問」「話し言葉の疑問」「書き言葉の疑問」「文法の疑問」「語彙の疑問」の6章に分けてわかりやすく解説している。

「アンニョンハシムニカ? ハングル講座

—よく使う言葉で賢く学ぼう—

李允希著 NHKラジオ放送用教科書

日本出版協会 19年4月~9月 2,100円(税抜)
 筆者が担当講師を務めた、NHKラジオ教育放送ハングル講座の入門テキスト。言語教育の教材論に立脚した統合教材。筆者の専門分野である発音教育と最新のコーパスによる語彙教育の充実を図っているのが特徴。

「iPod selection韓国語

—ハングルの学ぶ(Premium)」

李允希共著 CAI教材

ソースネクスト 2,100円(税抜) 発行19年2月
 ビジネスに必要な韓国語やビジネスの実務で必要となる会話を使用頻度が高く、応用範囲の広い語彙を中心にまとめた会話教材。iPodやパソコンを利用して学習でき、繰り返し聞くだけでヒアリング能力が大幅に伸長できるのが特徴。

「ハングル三昧PLUS」

株式会社学習研究社 3,990円(税抜) 発行19年2月
 時代のニーズに応じて、パソコンで学習できるCAI教材。ハングルが読めない一般の学習者のために、ハングル文字にはカタカナのルビをふり、ローマ字を併記して特に間違えやすい発音が正確に発音できるように対応している。「韓国語の耳」を作る学習システムを目指しているのが特徴。

子ども学部

「昭和の子ども生活史」

深谷昌志著

黎明書房 7,500円(税抜) 発行19年9月30日

子どもが昭和をどう生きてきたのかを、資料を基に描いていく。全体は6章から構成され、紙芝居や補習教育、徒弟奉公、集団疎開、少年マガジン、テレビなどの現象を子どもの視点から捉え、その意味をとらえる。

「保育者になりたいあなたへ

学校選びから就活までアドバイスブック」

(教育技術 Latta mook)

神長美津子監修/Latta編集部編

小学館 1,260円(税抜) 発行19年2月

「保育士をめざす人のために」「幼稚園教諭をめざす人のために」「新しい保育のカたち」「就活まるわかり」の4部構成で、保育士&幼稚園教諭「もっと知っておきたい専門用語集」もあり、保育者をめざす学生にお勧めしたい必読書。

子ども学部

「『音痴』克服の指導に関する実戦的研究」

小畑千尋著

多賀出版 7,875円(税抜) 発行19年9月

「音痴」は広く一般に音楽能力に先天的に欠陥があるかのごとく捉えられている。しかしながら音程を正しく歌うことは、スキルとして習得できる。本書は「音痴」の成人に対する指導実践事例の分析を通して、「音痴」克服において必要とされる歌唱指導面の指導・心理的援助を明らかにし、その指導法を提言したものである。

短期大学

「観光学大辞典」

香川眞編 日本国際観光学会監修

分担執筆 秋山秀一

木楽舎 3,333円(税抜) 発行19年11月8日

日本国際観光学会の15周年記念行事として刊行された、日本で最初の観光学に関する辞典。「現代観光学の視座」「旅と観光の歴史」「観光行動とその規制」「観光政策と観光行政」「観光事業と観光経営」「観光と地域社会」「観光と国際社会」「国際観光事情」の9章で構成され、収容用語4500語から成る。

「冷泉家時雨亭叢書 71

承空本私家集下」

共著 久保田哲夫・新藤協三・田中登・藤田洋治

朝日新聞社 30,000円(税抜) 発行19年6月1日

重要文化財に指定された、時雨亭文庫蔵の承空本私家集の影印と解題の3冊目。8人の歌人の家集を収録し、異本系の貴重な本文を持つ古今歌人の小野小町と藤原敏行の家集、「小野小町集」と「敏行朝臣集」を担当した。

「保育実習まるごとガイド」

監修寺田清美

小学館 1,000円(税抜) 発行平成19年

「新入生のスタディガイド」的保育者専門書。幼稚園や保育所ではどんな生活をしているのか、保育者はどのような仕事をしているのか? 保育者になるためには、何を学び、準備が必要なのか? 保育の基本と学生生活の過ごし方を、わかりやすく具体的に解説している。

乳児保育の基本

寺田清美(共著)

萌文書林 2,000円(税抜) 発行19年11月

○21号でご紹介した「あかちゃんが教室にきたよ」は厚生労働省「第16回保障審議会福祉文化財」の推薦認定をいただきました。

一般入試の入試日程などはホームページで詳細を



十条台キャンパス 11月に開催された桐友祭

学校法人 **東京成徳学園** <http://www.tokyoseitoku.ac.jp>

東京成徳大学大学院	http://www.tsu.ac.jp/gra (pc) office-gra@tsu.ac.jp (e-mail)	電話03-3927-4116
東京成徳大学	http://www.tsu.ac.jp (pc) http://www.tsu-mobile.com (携帯サイト)	
人文学部	八千代キャンパス入試・広報センター	電話047-488-1000 (直通)
子ども学部	十条台キャンパス入学課	電話03-3908-4566 (直通)
東京成徳短期大学	http://www.tsc.ac.jp 十条台キャンパス入学課	電話03-3908-4566 (直通)
東京成徳大学中学・高等学校	http://www.tokyoseitoku.ac.jp/tokyo-hs	
本館 (中・高一貫部)		電話03-3911-2786
別館 (高等部)		電話03-3911-5196
東京成徳大学深谷高等学校	http://www.tsfh.jp	電話048-571-1303
東京成徳短期大学附属幼稚園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind	電話03-3911-6337
東京成徳短期大学附属第二幼稚園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp/y-kind	電話048-854-2151
東京成徳スイミングスクール		電話03-3914-2383
学外施設戸隠グリーン		電話026-254-2662

学校法人 東京成徳学園
法人本部企画調査室

〒114-8526 東京都北区豊島8-26-9 TEL 03-3911-2411 FAX 03-3911-6500
東京成徳広報 第23号 平成20年1月発行